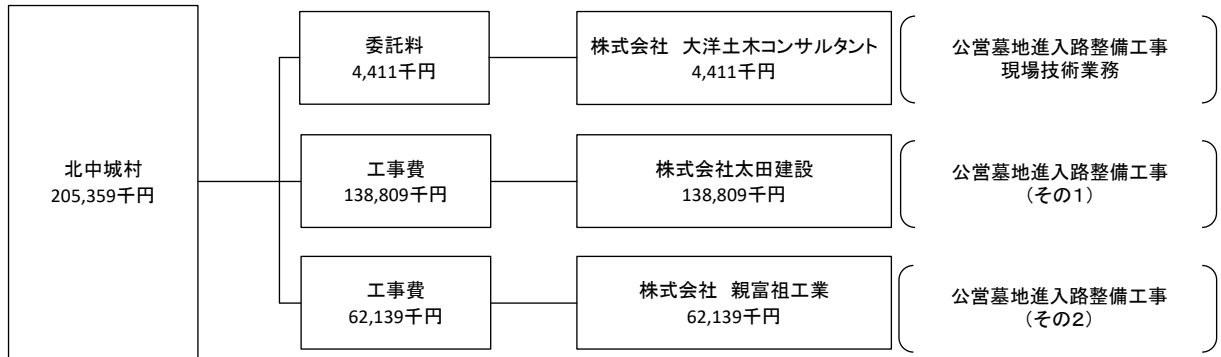


市町村名	北中城村						
令和元年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	公営墓地整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(6)-ア		
担当部署名	住民生活課	事業実施(予定)年度	平成24~令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄のソフトパワーを活用した新事業・新産業の創出 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	沖縄独特の墓地散在化の抑制と整理、景観的な住環境の改善を図るため、公営墓地の進入路整備を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他( )						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	71,907	124,497	-		
		(b)予算現額	27,119	205,689	-		
		(c)増減額(b-a)	▲44,788	81,192	-		
		(d)繰越額	-	-	141,078		
	A.計(b+d)		27,119	205,689	141,078		
	B.執行済額		25,089	64,281	141,078		
	うち交付金充当額		20,071	51,424	112,113		
	次年度繰越額		0	141,078	0		
	執行率(%) (B/A)		92.5%	31.3%	100.0%		
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> <li>・R1年度の不用額330千円については、進入路整備工事の精算による減額である。</li> <li>・軟弱層等の影響により、その対策工事に不測の日数を要したことから、141,078千円をR2年度に繰越すことになった。</li> <li>・R1年度繰越については、計画通り予算を執行することができた。</li> </ul>					
活動目標(指標)及び達成状況	R1活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	公営墓地進入路整備工事の実施	目標	(実施計画の検討)	(進入路整備工事の実施)	( )	( )	
		実績	実施計画の検討	進入路整備工事の実施			
		目標	( )	( )	( )	( )	
		実績					
達成状況説明	主工事である擁壁工(テールアルメ擁壁工事)を完了させたことから、進入路整備を概ね完了させることができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R1成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	公営墓地進入路整備の完了	目標	( )	(実施設計の完了)	(進入路整備の完了)	( )	( )
		実績		実施設計の完了	進入路整備の一部完了		
	【R4成果目標】 公営墓地利用世帯	目標	( )	( )	( )	( )	(35世帯)
		実績					
	進捗状況説明	軟弱層の対策工事で事業費が大幅に増額したことにより、舗装工及び排水工についてはR2年度に実施することとなったが、主工事である擁壁工が完了したことで、進入路整備を概ね達成することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・軟弱層対策工事の実施により工事費が増加したことで、進入路整備の一部を取りやめたことから、R2年度造成工事と合わせて整備が必要となる。</p>	<p>・供用開始をR4年度に予定していることから、R2年度には造成工事を完了させる必要があるため、工事の進捗を適宜確認し、円滑な整備工事に努める。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・R4年度の公営墓地供用開始に向け、公営墓地の造成工事に取り組む。</p>		

**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
205,359	205,359	163,537	41,822	0



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>・委託事業者及び工事請負事業者は、指名競争入札により選定しており、妥当であったと考える。</p> <p>・予算規模については、事前に見積りを取るなど、内容を確認しており妥当であったと考える。</p> <p>・費目・用途については、精算段階で検査を実施しており、事業目的に即し適正であったと判断する。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		